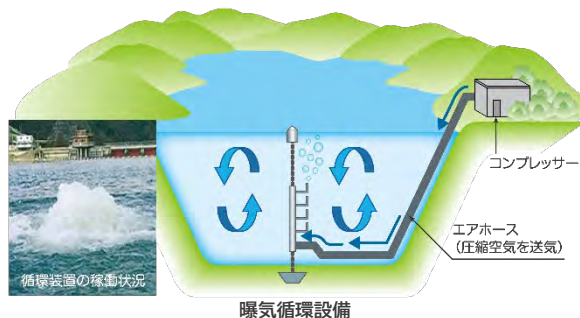


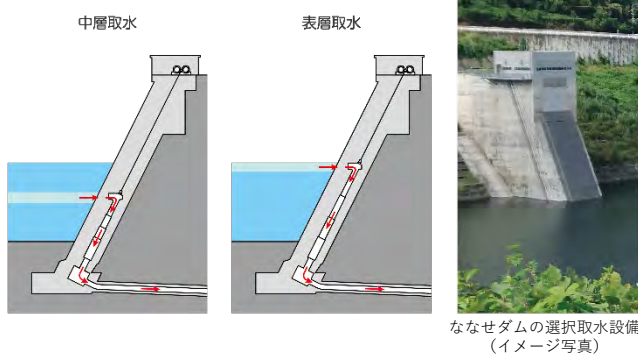
## 環境保全

### ●水質保全対策（完成後の取り組み事例）

ダム完成後には、ダム湖の水を空気力の力により循環させる曝気循環設備を設置し、アオコ等の発生や富栄養化による水質悪化を防ぎます。



また、取水する水深を選べる選択取水装置を設置し、ダム湖の水温分布や濁りの状況に応じて取水し、下流へ水を流します。



### ●環境調査の実施

周辺環境の実態把握のため、動植物、河川の水質、騒音、粉じんなど様々な調査を継続的に行っていきます。



## 地域資源

魅力的な自然環境や景観・歴史資源を守り、地域の活性化に活かしていきます。

### 人文・歴史

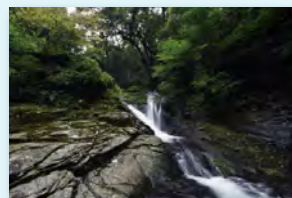


### 豊かな自然環境



富川渓谷 / 多良岳県立自然公園

### 多様な水環境・文化



渓谷河川 / 富川渓谷 / 五百羅漢里山 / 湧水 / 大波野用水

### 人文・歴史



伝統芸能：浮立 / 石工技術

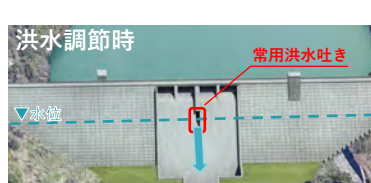
### 文化的な里山景観



棚田 / 石積み / ホテル観賞地

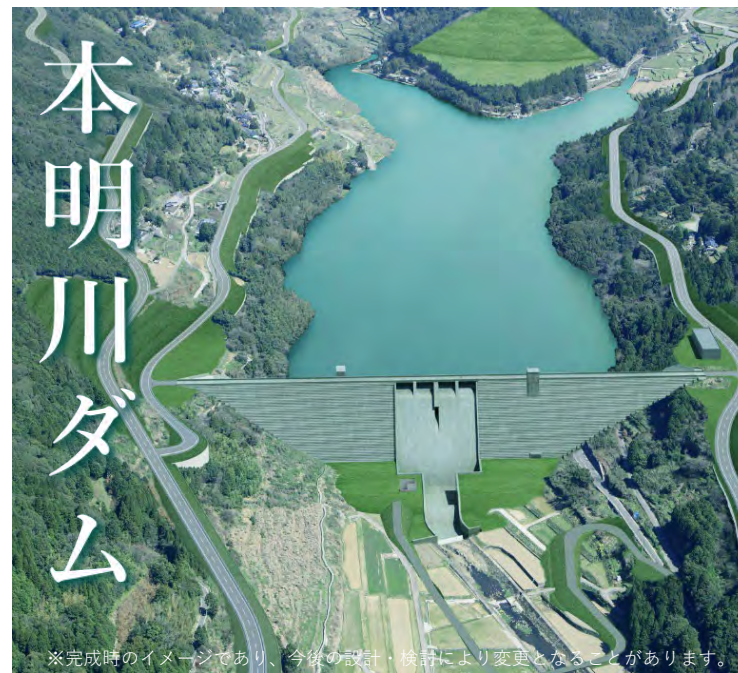
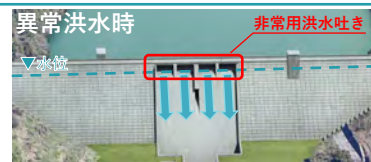
## 洪水調節

洪水貯留容量に流れ込む水の一部を貯め、下流に被害を与えないような流量を常用洪水吐きから流します。流す水の量はダム水位により自然に変化します。



計画した規模を上回る大雨になると・・・

更に雨が降り、洪水貯留容量が満水に達した時には、非常用洪水吐きから水を流します。



※完成時のイメージであり、今後の設計・検閲により変更となる場合があります。

国土交通省 九州地方整備局

本明川ダム工事事務所

公式SNS・WEBサイト  
情報発信中



日々の取り組みやイベント情報のほか、防災情報など本明川に関する様々な情報を発信しています。

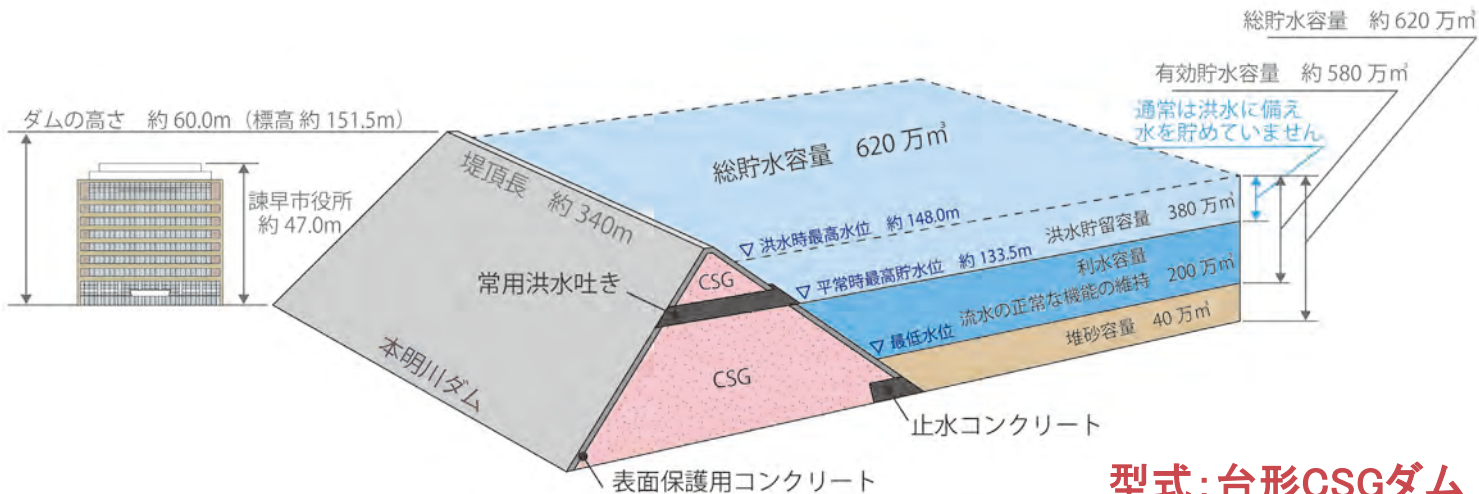
本明川ダム工事事務所

WEBサイトも更新中!

Check!

## ダム概要

台形CSGダムとは、セメント系固化材（CSG）を堤体材料に用い、堤体断面を台形形状とする型式のダムを言います。日本で最も新しいダムの型式です。



型式: 台形CSGダム

## 台形CSG※ダムの特徴

### ①設計の合理化

- ・台形形状であるため、重力式コンクリートダムに比べ、転倒・滑動に対する安全度が向上
- ・堤体内に発生する応力が小さく、CSG材の必要強度を小さくできる

### ②材料の合理化

- ・台形CSGダムの必要強度が小さくなり、堤体に使用する材料選定の幅が広がる
- ・従来のコンクリートダムでは使用できなかった風化岩や掘削廃棄岩の有効利用が可能

### ③施工の合理化

- ・骨材製造設備等の大掛かりな設備が不要となり、製造設備の簡素化が可能
- ・施工の簡略化により、高速施工が可能

※CSGとは「Cemented（セメント）Sand（砂）and Gravel（砂レキ）」の略。河床の砂や砂利、工事で発生する岩塊や土砂などを基本そのままの状態です。セメント・水と混合してできる材料

## 本明川の特徴

集中豪雨が発生しやすい気象条件

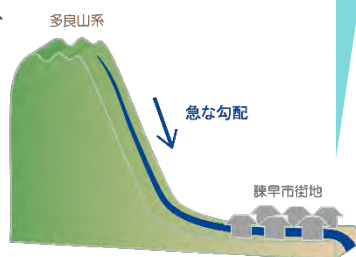
本明川流域は、三方を海で囲まれ、北東部に多良山系がそびえることから、集中豪雨が発生しやすい気象条件です。

- ① 南からの湿った空気が集結
- ② 多良山系にぶつかり上昇気流発生
- ③ 上空で急速に雨雲が発達
- ④ 集中豪雨が発生



洪水が発生しやすい地形条件

本明川は、いくつもの支川と合流しながら多良山系の急峻な山麓を南下しており、河川勾配が急であるため、川の水が一気に流れ、勾配が緩くなる諫早市街地付近から水位が上昇しやすくなっています。

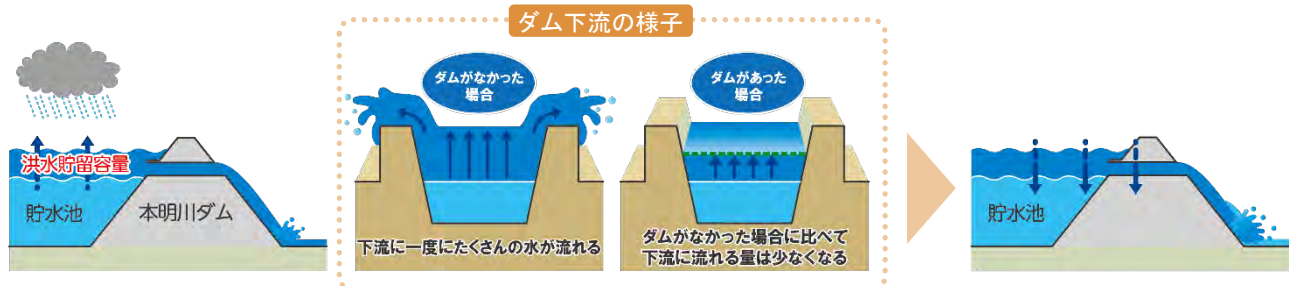


渇水被害

渇水による被害がたびたび起こっており、農作物や魚類などの生育・生息環境に影響を与えています。

## ダムの目的と機能

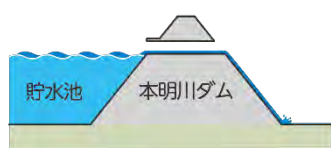
### ●大雨の時に防災操作をします



雨が降ってきたらダム上流より流れ込む水を一時的に貯め、下流に一度にたくさん流れていかないようにします。

その後、貯めた水を安全に流し、次の洪水に備えます。

### ●本明川の安定した水を確保します



普段は、洪水に備え、河川の機能を維持するために必要な水以外はダム湖に貯めないようにして、本明川の流量を安定的に確保します。



ダムが完成すると



●公園堰（直下流）地点において概ね0.25m³/sを確保します。